

#### ■授業の目的

中学・高校で地理の授業を担当することを想定し、生徒に興味・関心を持ってもらえる自然地理の入門として、これだけは知っておいて欲しい内容を取捨しつつ、地球上の自然環境を万遍なく学ばせる。

#### ■授業の到達目標

教科書の内容を読了し、以後の各分野を掘り下げて学ぶ動機づけとなる。または、人文・自然科学へのさらなる興味を持って学ぶ素養が身に付いたと自覚できることを目標とする。

#### ■授業計画

- 1 地球のすがた  
システムの基盤としての地球を太陽系の惑星のデータで探る。地球の大きさや重さを知る。地球のかたちについて。
- 2 地球のなりたち  
地震の P 波・S 波による地球の中身の調べかた、地球の「層」構造、太陽系の誕生と地球の進化について学ぶ。
- 3 大気のはたらき  
現在の地球の大気組成、大気圏とその温度分布。地球の熱収支とその地域差。「風」の起こるしくみ。地球規模の大気大循環について。
- 4 海洋のはたらき  
「ザ・ブルー・マープル」(水の惑星)と水の循環。海水と海洋の構造について。海水の循環、主な海流について。
- 5 気候  
気候をつくる要素と因子。世界の気温分布。世界の降水量分布。季節風と日本の気候について
- 6 地球史における「最近」の自然変動  
「第四紀」という地質時代について。気候は変わる(氷河期・間氷期)。万年スケールでの気候変動の要因について
- 7 プレートテクトニクス  
プレートテクトニクスとは何か。プレートテクトニクスの成立。3種のプレート境界。地球の奥深くから立ちのぼる「ブルーム」。ホットスポットが語ること。
- 8 火山  
火山の分布とできかた。マグマの種類と噴火様式。火山噴出物と地形。火山地形。火山の災害と恩恵について。
- 9 地震  
地震の発生のメカニズム。地震の発生するところ。マグニチュードと震度について。日本付近で発生する地震のタイプ。地震災害と防災を考える。
- 10 地殻変動  
マントルに浮かぶ地殻:アイソスタシー。プレートの動きと山地の形成。日本列島の地殻変動。盆地があるということ。
- 11 風化・侵食と地形  
山「らしさ」を担う起伏の形成。風化とその果たす役割、侵食と地形。日本の山地の成長にかかる「歯止め」として。侵食の輪廻について。
- 12 世界の大地形  
河川による運搬と堆積。堆積平野の形成と地形配列。地形と土地利用。
- 13 運搬・堆積と地形  
河川による運搬と堆積。堆積平野の形成と地形配列。地形と土地利用。
- 14 地形図と小地形(平野・丘陵)  
地形図の基礎と地形図の読図・作業。扇状地・三角州・氾濫原の地形図作業と読図。土地利用図の作成。
- 15 地形図と小地形(山地・海岸地形・特殊地形)  
地形図の技能(勾配の求め方、断面図、尾根・谷線の求め方)、地形図の読図(海岸・特殊地形)。

#### ■授業の方法

書画カメラや PC を使った学習教材の提示と講義。配布資料に基づく演習授業。事前課題に対する発表と質疑応答。AL(アクティブ・ラーニング)を用いた授業展開。フィールドワークに向けた事前・事後指導を行う。

#### ■予習・復習

毎時間次週の授業に向けての予告と課題を提示する。教科書の本文を必ず読んでおき、わかりづらい点を理解できるようにノートを作成したり、インターネットで調べせる。

#### ■成績評価の方法

毎時間の演習プリントの取り組み状況をチェックしたり、小テストを実施し、その到達度(20%)をみる。フィールドワークのレポートや課題提出(10%)の内容をみる。さらに前・後期試験を評価(70%)の重点に置く。

#### ■教科書・参考書

- 教科書 「初めての自然地理学」 吉田 秀嗣著(古今書院)  
参考書 「自然のしくみがわかる地理学入門」 水野 一晴著(ベレ出版)  
「やさしい気候学 第3版」 仁科 淳司著(古今書院)